

文化財を未来へ、最先端の電気火災対策

近年、建物の火災件数は減少傾向にあるものの、電気火災の占める割合は増加傾向にあり、その未然防止は重要性を増しています。歴史的建造物も例外ではなく、電気機器の経年劣化、目視が困難な壁内配線など、電気火災の可能性を秘めています。

日東工業は電気火災の要因となる火花放電を「見える化」し、電気火災を未然に防ぐ技術で、貴重な文化財を守る新しい対策を提案します。

事例
08

櫻井神社

拝殿 (国宝)



馬道 (拝殿内の通路)



中門から本殿



社務所

堺市で唯一の国宝を電気火災から守る万全の準備。

櫻井神社は、上神谷の八幡さんと呼ばれ、拝殿は堺市内で唯一の国宝に指定されている貴重な建物です。鎌倉時代の建築で、特徴的な白壁と朱色の木部が目を引きます。中央に土間の通路(馬道)のある割拝殿という形式で、国内でも最も古い割拝殿のひとつです。今回、境内の社務所に、地震時にブレーカを自動遮断する「感震ブレーカー」と、電気火災の引き金となる火花放電を検出する「放電検出ユニット(スパークテクト)」が採用されました。



社務所に設置

DATA

櫻井神社 大阪府堺市南区片蔵645 [2023年12月設置]

【設置機器】 ●放電検出ユニット(スパークテクト)×2台 ●感震ブレーカー×2台

【設置場所】 社務所

業界初

放電検出ユニット(スパークテクト)+感震ブレーカーで
電気火災を未然に防止。

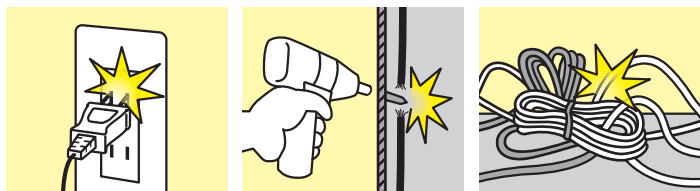
施設の“安全・安心”がさらにレベルアップ!

火花

電気火災の
約4割は火花が原因

些細な原因で起きる火花放電

経年劣化、過度のケーブルストレスによる配線周りでの
電気火災が多発しています。



トラッキング

ケーブルの破損

コードのねじれ・劣化

放電検出ユニット

家屋内の火花放電を検出してお知らせ

コンセントだけでなく、家屋内の配線をまるごと監視します。



Spartect
スパークテクト

動画でチェック!

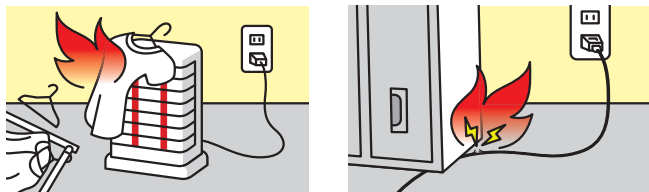


電気
火災

地震火災の
約6割は電気が原因

電気復旧時の通電火災が怖い

地震による停電の後、電気が復旧し、スイッチが入ったままの電気機器に
再び電気が通ること、火災が起きる危険性があります。



復電後、電気機器に落下した
可燃物から発火。

電源コードの被覆が破れて、
短絡(ショート)により発火。

感震ブレーカー

地震の揺れを感知し、ブレーカを自動でOFF

不在時や、ブレーカを切って避難する余裕のない場合にも安心です。



動画でチェック!



災害はいつ起きるかわかりません。
放電検出ユニットと感震ブレーカーを
セットで備えると、安心も2倍だね!



日東工業
イメージキャラクター
「ソーライオン」

2024年3月発行

●本書からの無断転載は固くお断りいたします。 ●仕様などお断りなしに変更する場合がありますのでご了承ください。
●本製品の故障や瑕疵により、弊社の予見の有無を問わず生じた二次損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
●記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

NITO 日東工業株式会社

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
TEL(0561)62-3111(大代)
お客様相談センター/TEL(0561)64-0152
工場/瀬戸・菊川・掛川・磐田・中津川・唐津・花巻・栃木野木

K-526 5200034 NT
OM10LCC22